

フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2023

ミュージザ川崎シンフォニーホール

サマーナイト・ジャズ

Summer Night Jazz

サマーミュージザ×ピアノ Vol. 1 宮本貴奈ホールアドバイザー就任記念スペシャル!

7/23日

■プレコンサート

16:20~16:40

※演奏中の入退場はご遠慮ください。本公演と同じお席でお楽しみください。

■開演

17:00

■終演予定

19:45

若手ミュージシャンによる プレコンサート



ピアノ：中川就登
Shuto Nakagawa, Piano



サクソフォン/タップダンス：
鈴木真明地
March Suzuki,
Saxophone / Tap Dance

曲目

※当日に変更となる場合がございます。

【第1部】

宮本貴奈ステージ

- Fragrant Forest～香る森
- Tea for Two(二人でお茶を)
- Tell Me a Bedtime Story
- Over the Rainbow (虹の彼方に)
- Rainbow

—休憩(15分)—

【第2部】

ゲストステージ

- Hello Like Before～Just the Two of Us (クリスタルの恋人たち)
- Spirit of Love
- Life on Mars?
- Mr. ブルー ～私の地球～
- みずいろの雨

—休憩(15分)—

【第3部】

追悼パート・バカラック特集

- Raindrops Keep Fallin' on My Head (雨にぬれても)
- Arthur's Theme (ニューヨーク・シティ・セレナーデ)
- バカラック・メドレー (Do You Know the Way to San Jose(サンホセへの道)、A House Is Not a Home 他)
- The Look of Love(恋の面影)
- Close to You(逢かなる影)
- I Say a Little Prayer for You(小さな願い)
- What the World Needs Now Is Love (世界は愛を求めている)
- That's What Friends Are for(愛のハーモニー)

他

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

■出演者プロフィール



ピアノ／ヴォーカル／音楽監督：宮本貴奈 Takana Miyamoto, Piano / Vocal / Music Director

米パークリー音楽大学、ジョージア州立大修士卒。全米エドマンジャズピアノ大会優勝。「アトランタベストジャズアクト(2年連続)」[ジョージア州で最も影響力のある女性]他受賞。19年間米英を拠点に活動後、2013年帰国。ソロ活動のほか、八神純子、佐藤竹善、サラ・オレイン、小野リサ、大黒摩季、May J.、絢香、稲垣潤一他共演。2020年CD [Wonderful World] でミュージック・ベンクラブ音楽賞最優秀作品賞受賞。作・編曲、プロデューサー、音楽監督、ヴォーカル、オーケストラ、劇伴音楽まで幅広く手がける。国立音楽大学ジャズ専修講師。2023年4月よりミュージザ川崎シンフォニーホール・アドバイザー。茨城県結城市出身。www.takana.net



ベース：パット・グリン Pat Glynn, Bass

米国ニュージャージー州出身。ニューヨークを主な拠点とし約10年間ブロードウェイ・ミュージカルやブルーノートなどのジャズクラブでサム・リヴァース、ポピー・ヴィントン、シガー・ロスといったアーティストと共演し、キャリアを重ねる。2007年に来日してからは、エディ・ヘンダーソン、エリック・アレキサンダー、松田聖子、今井美樹、八神純子など国内外のアーティストと共演するほか、多くのミュージシャンのレコーディングに参加。自身初のリーダーアルバム [Who's on Bass] (ピアノ：サイラス・チェスナット、ドラム：カール・アレオン) をリリース。



ドラムス：デニス・フレーゼ Dennis Frehse, Drums

ドイツ・ハノーファー生まれ。米パークリー音楽大学を首席で卒業。ドイツへ帰国後、Branford Marsalis、Jesse Davisなどと共演し、全欧各国での演奏活動を幅広く展開すると同時に、教育の場でも実績を挙げる。2009年より東京を拠点に活動中。主な共演者は渡辺貞夫、小曾根真、松田聖子、小野リサ、今井美樹、吉田栄作、石丸幹二、Dan Nimmer、David Bryant、中村誠一、原朋直、安部潤、中川英二郎、守屋純子、寺久保エリナなど。リーダーアルバムを今野敏が主宰する78LABELよりリリース。現在、洗足学園音楽大学ジャズコースの講師として後進の指導にも当たっている。

【ゲスト】



ヴォーカル：八神純子 Junko Yagami, Vocal

1978年に「悪い出は美しすぎて」でのデビュー以来、「みずいろの雨」「ボーラー・スター」「パープル タウン～You Oughta Know By Now～」など数々のヒット曲を生み出す。一時中断した音楽活動を2011年より再開以来、2021年9月に20作目になるオリジナルアルバム [TERRA～here we will stay] を発表した。全国各地でのさまざまな編成でのコンサート、年に一度の歌いたい歌を、歌いたいだけ歌うスペシャルコンサート「ヤガ祭り」「キミの街へ」「ビルボードライブ」そして「プレミアムシンフォニックコンサート」といったライブ活動を続ける。http://junkoyagami.com/



ヴォーカル：佐藤竹善 Chikuzen Satō, Vocal

Sing Like Talking のボーカルとして1988年にデビュー。ソロ活動のほか、ピアニスト塩谷哲とのユニット“Salt & Sugar”、小田和正とのユニット“PLUS ONE”、エリック・ミヤシロ率いるビッグバンドとのライブ、オーケストラとの共演など、多彩なアーティストとのコンサート、レコーディングに参加、楽曲提供やプロデューサーなども行い、ジャンルを超えた高い評価を受けている。2023年はSing Like Talking がデビュー35周年を迎え、大病を克服したギタリスト西村智彦の本格復帰のもと「さよならサンブラ、おかえりニシムラ」と題したコンサートを開催、秋には 35th Anniversary Live を3日間に渡り、大阪・東京で行う。



トランペット／フルーゲルホルン：エリック・ミヤシロ Eric Miyashiro, Trumpet / Flugelhorn

米国ハワイ州ホノルル出身。小学生から楽器を始め、中学生からプロとしての活動を始める。天才少年としてテレビ、ラジオに出演。22歳でパディー・リッチ、ウディー・ハーマンなどの名門ビッグバンドに参加、7年間にわたり世界中を回る。多くのバンドのリード・トランペッターとして活動後1989年に来日し、スタジオ、テレビ出演、ツアーサポートなどを開始。吹奏楽、オーケストラとの共演を始め、作曲家、アレンジャー、プロデューサーとしても幅広く活躍。1995年EM Band 結成。2013年からBlue Note Tokyo All Star Jazz Orchestraのリーダー、音楽監督。



サクソフォン／フルート／コーラス：本田雅人 Masato Honda, Saxophones / Flute / Chorus

国立音大時代にニュータイドジャズオーケストラに所属、山野ビッグバンドジャズコンテストにて優勝、最優秀ソリスト賞を受賞。在学中から「原信夫とシャープス&フラッツ」のリードアルト奏者を務め、卒業後はトップアーティストのレコーディングやツアーサポート等、ジャンルを超えて多数参加。1991～98年、フュージಂಗグループ [T-SQUARE] でフロントを飾ると共に、作曲、アレンジ面でも新風を巻き起こす。現在ソロアーティストとして活動しつつ、アレンジからプロデューサーまで活動は多岐にわたっている。また後進の指導にも熱心に取り組んでいる。



トロンボーン：中川英二郎 Eijiro Nakagawa, Trombone

5歳でトロンボーンを始め、高校在学中に初リーダー作をニューヨークで録音。ビッグ・アーティストとの共演をはじめ、映画、CM、テレビなど多くの録音でも知られる。2008年NHK連続テレビ小説「瞳」のメインテーマを演奏。2018年SLIDE MONSTERSを結成。2019年 [International Jazz Day] 出演。読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、京都市交響楽団、山形交響楽団と共演するなどジャンルを超えた多彩な才能を発揮し、日本を代表する世界的トロンボーン奏者として活動している。



エレクトリック・ヴァイオリン：SUGIZO SUGIZO, Electric Violin

作曲家、ギタリスト、ヴァイオリニスト、音楽プロデューサー。日本を代表するロックバンドLUNA SEA、X JAPAN、THE LAST ROCKSTARSのメンバーとして世界規模で活動。同時にソロアーティストとして独自のエレクトロニックミュージックを追求、更に映画・舞台のサウンドトラックを数多く手がける。2020年、サイケデリック・ジャムバンドSHAGを12年振りに再始動。音楽と並行しながら平和活動、人権・難民支援活動、再生可能エネルギー・環境活動、被災地ボランティア活動を積極的に展開。アクティヴィストとして知られる。http://sugizo.com



ギター：小沼ようすけ Yosuke Onuma, Guitar

2001年にSONY MUSICよりデビュー。2010年フレンチカリビアンミュージシャンとグアドループの民族音楽グオッカの太鼓 [ka] をフィーチャーした [Jam Ka] を発売。2016年Flyway LABELを設立し、パリで録音された [Jam Ka Deux] をリリース。この作品をきっかけにヨーロッパのジャズクラブやフェスティバルに出演。2019年Jam Ka Deuxツアー直後のスタジオセッションを収録したアルバム [Jam Ka 2.5] を発表。グオッカの本拠地グアドループで行われたFestival Eritajに出演。ジャズをベースに各国を旅して得た影響、経験を音楽に採り入れながら、世界を音で繋ぐ創作活動を続ける。

サマーミュージザ特設サイト

●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージザ ●アンケート ●パートナーショップ特典

こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

ミュージザ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

ミュージザ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。

●法人 【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 川崎フロンターレ キヤノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェクト株式会社 三井不動産グループ	公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファーズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 株式会社きんでん ケイジケー株式会社 京浜楽器株式会社 株式会社さいか屋 川崎店 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレス川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所	株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝 びあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 ヤマハサウンドシステム株式会社 *	●個人 阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敬昭 宇佐美清一 遠藤智和 大越麻美子 大塚具幸 小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小野洋彰 金山直樹 喜多純一 木伏源太 久住映子 黒川裕子	小菅みつほ 後藤 実 小林知子 斉藤隆徳 佐伯 昇 佐藤晴茂 杉山弘子 鈴木甚郎 鈴木 徹 関口 浩・三代子 高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子 西 洋子 西山英昭	長谷川喜代江 濱尾 泰 林 直人 廣瀬治昇 藤嶋とみ子 前田 泉 松本武巳 山内利夫 山下啓史 山田昌克 D.Y M.C N.A T.Y 他匿名16名 敬称略五十音順
---	---	--	--	--	--

(2023年6月30日現在)

Festa Summer MUZA Kawasaki 2023

音楽をお楽しみいただくために

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォンなど音や光を発する電子機器の電源をお切りください。	演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・アメの包みを開ける際など)。
時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。	演奏中の会話はお控えください。ブラボーなどの声援をされるお客様は、マスク着用を推奨いたします。
ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。	曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。
演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。	客席内での飲食はご遠慮ください。
許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします。	館内では咳エチケットや適切な手指消毒を推奨しております。
タブレット端末など光を発する機器は、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。	

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
後援：川崎市教育委員会、公益社団法人日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

文部科学省
Agency for Cultural Affairs
Government of Japan

音楽のまち・かわさき

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

ジャンルの垣根を超えた名曲の数々をお届け！

最高峰のミュージシャンとともに

談 宮本貴奈（ピアノ）／ヴォーカル／音楽監督 取材・文 八島敦子



みなさま、本日は「フェスタ サマーミュージザ KAWASAKI 2023 サマーナイト・ジャズ」へようこそ。私、宮本貴奈は今年の4月1日にミュージザ川崎シンフォニーホールのホールアドバイザー（ジャズ部門）に就任いたしました。本日は〈宮本貴奈ホールアドバイザー就任記念スペシャル公演〉としてジャンルを超えたスペシャルゲストをお迎えしながら、3部構成による豪華プログラムを「どかんと！」お届けいたします。

国際色豊かな宮本貴奈トリオでお届けするスタンダード

第1部では私自身のトリオをフィーチャーして、ギタリストの小沼ようすけさんをゲストに迎えます。ベースにアメリカ出身のパット・グリーン、ドラムスにドイツ出身のデニス・フレーゼという国際色豊かなトリオで「世界とつながるミュージザ」を感じていただければと思います。ふたりとも私のファーストコールのミュージシャンで、個別には様々なステージで共演してきていますが、3人そろってのトリオは意外と今回は2回目なんです。パットもデニスもジャズクラブから大きなホールまで演奏ができるオールスタイルに長けているミュージシャンですので、今回はミュージザの素晴らしい音響を活かした演奏をぜひお楽しみください。

このトリオでお届けするジャズ・スタンダードの「Tea for Two (二人でお茶を)」は、私のアルバム『Wonderful World』(2020)からの選曲ですが、実は私自身初めてこのアルバムで弾き語りレコーディングした楽曲です。99年前の曲ですが、モダンでおしゃれな雰囲気でお届けしたいと思います。

そして小沼ようすけさんとのアコースティックデュオユニット「Double Rainbow」によるアルバム『Voyage』(2013)にも収録している「Over the Rainbow (虹の彼方に)」も披露します。こちらは私と小沼さんのふたりのデュオでお楽しみください。ピアノの素朴な音色も楽しんでいただけたら嬉しいです。

ジャンルを超えたスーパースターたちとの一夜限りの共演

そして第2部では、ジャンルを超えたスーパースターのみなさんをゲストにお迎えます。ポップス界からは八神純子さん、佐藤竹善 (Sing Like Talking) さん、ロック界からはSUGIZOさん、そしてジャズ界からはSUPER BRASS STARSとしても活躍しているトランペットのエリック・ミヤシロさん、サクソフォン&フルートの本田雅人さん、トロンボーンの中川英二郎さんに、ホーンセクションやソリストとしてご活躍いただく「ミュージザ・スペシャルアレンジ」を書きました。

「Just the Two of Us (クリスタルの恋人たち)」では、佐藤竹善さんのヴォーカルに本田雅人さんのサクソスをフィーチャーする今日だけのレアコラボ。グローバー・ワシントン・Jr.によるオリジナル曲でヴォーカルを務めたビル・ウィザースが2年前に天に召されたので、追悼トリビュートとして、竹善さんとのduetでの「Hello Like Before」に続けて、メドレーでお届けします。竹善さんは、私がアメリカから帰国したばかりの頃から大変お世話になっているアーティストで、洋楽に大変詳しいスペシャリスト。竹善さんが歌い上げるビル・ウィザースの楽曲をお楽しみください。

そして、もうおひとり、私が大変お世話になっているのが八神純子さん。八神さん

をフィーチャーし、八神さんオリジナルの「Mr.ブルー ～私の地球～」そして「みずいろの雨」をお届けします。もちろんホーンセクションが豪華に華を添えます。アメリカ生活も長い八神さんのフィーリングには共感できるところがたくさんあって、大好きなお姉さんのような存在です。八神さんはポップス界のスーパースターですが、素晴らしいミュージシャンでもあり、アーティストックな部分を大切にされているところにいつも感動します。ポップスやクラシックの場合、「譜面通りに正確に」を求められることも多いですが、自由なアドリブや音楽的な冒険も八神さんは大歓迎してくれて、活きた生の音楽を一緒につくってくださるソングライターとしても天才だと思います。

そしてSUGIZOさんのエレクトリック・ヴァイオリンをフィーチャーしてロックの名曲デヴィッド・ボウイの「Life on Mars?」を披露します。SUGIZOさんをご両親がオーケストラ・プレイヤーで自身もヴァイオリンを弾いてこられました。ストイックで研究熱心なSUGIZOさんはジャズにも大変詳しいんです。SUGIZOさん自身もリスペクトされる小沼ようすけさんもフィーチャーしますので、おふたりがどう絡むかも要注目です。

バート・バカラックの音楽世界

そしてフィナーレとなる第3部では、バート・バカラックの音楽世界をお届けします。

94歳まで活躍したバート・バカラックが残した数々の名曲のなかから、選りすぐりのナンバーで盛り上がりたいと思います。私自身もアメリカで活動していたときにフロリダで、バカラック氏の前座で演奏したことがありました。ご挨拶をしに行ったのですが、とてもあたたかくて良い方でした。作曲家、アレンジャーとしても活躍しながら、ピアノも弾き、時には歌い、トークもこなすバカラックは私にとってのロールモデル。彼の生き方はまさに「幸せな芸術家の生き方」。彼の足跡を知れば知るほど懂れて、私もそうなりたいと思います。

SUPER BRASS STARSの3人をフィーチャーしたバカラックナンバーからスタートし、佐藤竹善さんが「Raindrops Keep Fallin' on My Head (雨にぬれても)」と「Arthur's Theme (ニューヨーク・シティ・セレナーデ)」を歌い上げます。

「The Look of Love (恋の面影)」は私の弾き語り、「That's What Friends Are for (愛のハーモニー)」では竹善さん、八神さんの共演も楽しみです。カーペンターズでもおなじみの名曲「Close to You (逢かなる影)」では、八神さんと竹善さん、私の3声ハーモニーもお楽しみいただけたらと思います。

まだまだ取り上げたい名曲がたくさんありますが、時間に限りもありますので、バカラックメドレーにも盛り込んでいきたいと思っています。

今年の「サマーナイト・ジャズ」はジャンルを超えた最高峰のアーティストたちと、ジャズ、ポップス、ロック、バカラックと垣根を越えてお届けします。ここミュージザでしか聴けない、一夜限りの夢の共演をどうぞお楽しみください。

チケット好評発売中!

かわさき ジャズ 2023

かわさきジャズ2023 会場：ミュージザ川崎シンフォニーホール

■10月26日(木) 19:00 開演

出演：スティーヴ・ガッド BHG プロジェクト

■11月19日(日) 18:00 開演

出演：イリアーヌ・イリアス、
ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ 他

川崎市内全域で、9月～11月に多彩なイベントを開催!

詳細は「かわさきジャズ」ウェブサイト(<https://www.kawasakijazz.jp/>)よりご覧ください。